

4 工業用水道事業

(1) 業務実績

工業用水道事業における令和 3年度の業務実績を令和 2年度と比較してみると第 1表のとおりである。

第 1 表 業務実績

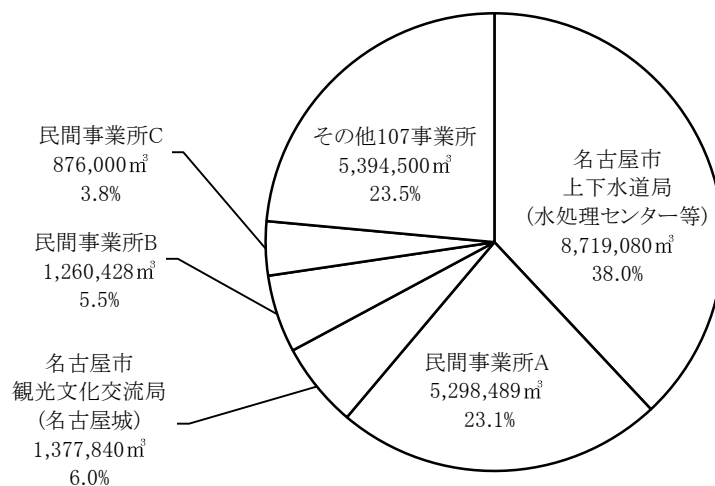
区 分		令和 3年度	令和 2年度	比較増△減	前年度対比
給水量	年 間	m ³ 22,926,337	m ³ 23,088,701	m ³ △ 162,364	% 99.3
	1 日平均	62,812	63,257	△ 445	99.3
給水事業所数 (年度末)		か所 112	か所 111	か所 1	% 100.9

給水量は年間 2,292万立方メートルで、前年度に比し 0.7%減少している。

年度末時点での給水事業所数は 112か所で、前年度に比し 1か所増加している。

なお、給水量及び給水事業所の状況は第 1図のとおりである。

第 1 図 給水量及び給水事業所の状況



給水事業所は、上位 5事業所で全体の76.5%の給水需要を占めている。

【工業用水道事業】

(2) 予算執行状況

ア 収益的収入及び支出

令和 3年度の予算執行状況は第 2表のとおりである。

第 2 表 予算決算対照表（収益的収入及び支出）

(収入)						
科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に比べ 決算額の増△減	収入率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
工業用水道事業収益	1,057,946	100	1,005,120	100	△ 52,825	95.0
営 業 収 益	932,685	88.2	879,639	87.5	△ 53,045	94.3
営 業 外 収 益	124,761	11.8	125,480	12.5	719	100.6
特 別 利 益	500	0.0	0	0.0	△ 499	0.0

(支出)						
科 目	予 算 額		決 算 額		不 用 額	執行率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
工業用水道経営費	1,047,946	100	936,240	100	111,705	89.3
営 業 費 用	957,081	91.3	845,875	90.3	111,205	88.4
営 業 外 費 用	90,364	8.6	90,364	9.7	0	100
特 別 損 失	500	0.0	0	0.0	499	0.0

収益的収入は、予算額10億 5,794万円に対し決算額は10億 512万円で、予算額に対し95.0%の収入率である。

収益的支出は、予算額10億 4,794万円に対し決算額は 9億 3,624万円で、予算額に対し89.3%の執行率である。

主な不用額

(営業費用)

工事請負費	8,165万円	公共工事に伴う配水管移設 工事の受託が予定を下回っ たこと等による
-------	---------	---

イ 資本的収入及び支出

令和 3年度の予算執行状況は第 3表のとおりである。

第 3 表 予算決算対照表（資本的収入及び支出）

(収入)						
科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に比べ 決算額の増△減	収入率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
資 本 的 収 入	13,126	100	1,336	100	△ 11,790	10.2
出 資 金	2,126	16.2	1,336	100	△ 790	62.8
そ の 他 資 本 収 入	11,000	83.8	0	0	△ 11,000	0

(支出)							
科 目	予 算 額		決 算 額		翌年度 繰越額	不 用 額	執行率
	金 額	構成比	金 額	構成比			
	千円	%	千円	%	千円	千円	%
資 本 的 支 出	879,187	100	517,316	100	287,341	74,529	58.8
建 設 改 良 費	742,432	84.4	380,561	73.6	287,341	74,528	51.3
他 会 計 借 入 金	136,755	15.6	136,754	26.4	-	0	100.0
返 還 金							

資本的収入は、予算額 1,312万円に対し決算額は 133万円で、予算額に対し10.2%の収入率である。これは、工費収入を伴う工事が実施されなかったこと等によるものである。

資本的支出は、予算額 8億 7,918万円に対し決算額は 5億 1,731万円で、予算額に対し58.8%の執行率である。これは、翌年度繰越額 2億 8,734万円及び不用額 7,452万円によるものである。不用額は主に建設改良費の残である。

主な建設改良事業

配水管網の整備（港区稲永一丁目地内等）	2億 1,782万円
工業用水道施設の整備（児玉浄水場等）	1億 2,628万円

翌年度繰越額

配水管網の整備（海部郡大治町大字北間島字藤田地内等）	1億 8,328万円
工業用水道施設の整備（辰巳浄水場等）	1億 405万円
設計業務に時間を要したこと等による	

なお、資本的収入額 133万円と資本的支出額 5億 1,731万円の差額 5億 1,598万円については、留保資金等が充てられている。

【工業用水道事業】

(3) 経営成績

ア 損益の状況

令和 3年度と令和 2年度の比較損益計算書（要約）は第 4表のとおりである。

第 4 表 比較損益計算書（要約）

区 分	令和 3年度		令和 2年度		比 較 増 △ 減	前 年 度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
営 業 収 益	799,672	86.4	813,182	86.6	△ 13,509	98.3
給 水 収 益	799,556	86.4	804,304	85.7	△ 4,747	99.4
受 託 工 事 収 益	116	0.0	8,878	0.9	△ 8,762	1.3
営 業 外 収 益	125,446	13.6	125,551	13.4	△ 105	99.9
受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,108	0.1	507	0.1	600	218.3
長 期 前 受 金 戻 入	123,567	13.4	123,481	13.2	85	100.1
雑 収 益	770	0.1	1,561	0.2	△ 790	49.4
経 常 収 益	925,118	100.0	938,733	100	△ 13,614	98.5
特 別 利 益	0	0.0	0	0	0	-
総 収 益	925,119	100	938,733	100	△ 13,614	98.5

区 分	令和 3年度		令和 2年度		比 較 増 △ 減	前 年 度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
営 業 費 用	824,460	96.3	827,387	96.2	△ 2,926	99.6
人 件 費	25,189	2.9	24,847	2.9	341	101.4
動 力 費	39,949	4.7	42,298	4.9	△ 2,348	94.4
修 繕 費	8,143	1.0	2,460	0.3	5,683	331.0
減 価 償 却 費 等	584,925	68.3	567,260	66.0	17,664	103.1
そ の 他	166,252	19.4	190,521	22.2	△ 24,268	87.3
（うち工事請負費）	20,230	2.4	43,040	5.0	△ 22,810	47.0
営 業 外 費 用	31,778	3.7	32,257	3.8	△ 479	98.5
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	21,773	2.5	22,251	2.6	△ 477	97.9
施 設 改 良 費	10,000	1.2	10,000	1.2	0	100
雑 支 出	4	0.0	6	0.0	△ 1	69.6
経 常 費 用	856,238	100.0	859,645	100.0	△ 3,406	99.6
特 別 損 失	0	0.0	1	0.0	△ 1	1.6
総 費 用	856,238	100	859,646	100	△ 3,407	99.6

営 業 損 益	△ 24,787		△ 14,205		△ 10,582	174.5
経 常 損 益	68,880		79,088		△ 10,208	87.1
当 年 度 純 損 益	68,880		79,086		△ 10,206	87.1
未 処 分 利 益 剰 余 金	178,880		356,259		△ 177,379	50.2

（注）営業費用の構成内容は75ページを参照。

総収益は、9億 2,511万円で、前年度に比し 1.5%、1,361万円減少しており、総費用は、8億 5,623万円で、前年度に比し 0.4%、340万円減少している。この結果、当年度の純利益は 6,888万円となった。

イ 収益及び費用の状況

① 経常収益

経常収益は 9億 2,511万円で、前年度に比し 1.5%、1,361万円減少している。

主な変動理由

(営業収益)

受託工事収益	876万円の減少	公共工事に伴う配水管移設 工事の受託が減少したこと 等による
給水収益	474万円の減少	大型商業施設の閉鎖に伴う 解約等による

② 経常費用

経常費用は 8億 5,623万円で、前年度に比し 0.4%、340万円減少している。

主な変動理由

(営業費用)

工事請負費	2,281万円の減少	水管橋補修工事が減少した こと等による
減価償却費等	1,766万円の増加	機械及び装置が改良取得に より増加したこと等による

ウ 人件費の状況

人件費の状況は第 5表のとおりである。

第 5 表 人件費の状況

区 分	令和 3年度	令和 2年度	比較増△減
	千円	千円	千円
経常収益 A	925,118	938,733	△ 13,614
人件費 B	25,189	24,847	341
定数内職員 (退職給付費を除く)	22,178	21,836	341
定数外職員	0	0	0
退職給付費	3,011	3,011	0
人件費比率 B/A	% 2.7	% 2.6	ポイント 0.1
職員数 (年度末)	人 2	人 2	人 0

(注) 職員数は定数内職員の現員数を掲げた。

職員数は、運転管理等を水道事業に委託しており、2人となっている。

【工業用水道事業】

(4) 財政状態

ア 資産・負債・資本の状況

令和 3年度末と令和 2年度末の比較貸借対照表（要約）は第 6表のとおりである。

第 6 表 比較貸借対照表（要約）

科 目	令和 3年度末		令和 2年度末		比 較 増 △ 減	前 年 度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
固 定 資 産	15,470,571	85.3	15,708,861	85.1	△ 238,290	98.5
ダム使用権	9,750,968	53.8	10,001,212	54.2	△ 250,243	97.5
流 動 資 産	2,657,004	14.7	2,741,139	14.9	△ 84,134	96.9
現 金 預 金	598,768	3.3	656,522	3.6	△ 57,754	91.2
運 用 金	2,000,000	11.0	2,000,000	10.8	0	100
資 産 合 計	18,127,575	100	18,450,000	100	△ 322,424	98.3
固 定 負 債	6,057,656	33.4	6,195,095	33.6	△ 137,439	97.8
他 会 計 借 入 金	5,981,241	33.0	6,118,475	33.2	△ 137,233	97.8
引 当 金	76,414	0.4	76,620	0.4	△ 206	99.7
流 動 負 債	228,476	1.3	370,110	2.0	△ 141,633	61.7
他 会 計 借 入 金	137,233	0.8	136,754	0.7	479	100.4
未 払 金	84,882	0.5	229,221	1.2	△ 144,338	37.0
繰 延 収 益	4,018,145	22.2	4,141,712	22.4	△ 123,567	97.0
長 期 前 受 金	4,018,145	22.2	4,141,712	22.4	△ 123,567	97.0
負 債 合 計	10,304,278	56.8	10,706,918	58.0	△ 402,640	96.2
資 本 金	7,493,581	41.3	7,376,822	40.0	116,758	101.6
剰 余 金	329,716	1.8	366,259	2.0	△ 36,542	90.0
利 益 剰 余 金	329,716	1.8	366,259	2.0	△ 36,542	90.0
資 本 合 計	7,823,297	43.2	7,743,081	42.0	80,216	101.0
負債・資本合計	18,127,575	100	18,450,000	100	△ 322,424	98.3

① 経常費用

資産合計は、181億 2,757万円で、前年度末に比し 1.7%、3億 2,242万円減少している。

主な変動理由

(固定資産)

ダム使用権

2億 5,024万円の減少

減価償却が進んだことによる

② 負債

負債合計は 103億 427万円で、前年度末に比し 3.8%、4億 264万円減少している。

このうち、他会計借入金は固定負債と流動負債を合計すると61億 1,847万円であり、返還により前年度末に比し 2.2%、1億 3,675万円減少している。未払金は 8,488万円であり、未払建設費が減少したこと等により前年度末に比し63.0%、1億 4,433万円減少している。また、長期前受金は40億 1,814万円であり、長期前受金戻入による収益化により前年度末に比し 3.0%、1億 2,356万円減少している。

③ 資本

資本金は74億 9,358万円で、未処分利益剰余金の組入れ等により前年度末に比し 1.6%、1億 1,675万円増加している。

利益剰余金は 3億 2,971万円で、未処分利益剰余金を資本金に組入れたこと等により、前年度末に比し10.0%、3,654万円減少している。

イ 財務比率

各年度末の流動比率及び自己資本構成比率の推移は第 7表のとおりである。

第 7 表 流動比率及び自己資本構成比率の推移

区 分	令和 3年度末	令和 2年度末	対前年度 増△減	令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末
	%	%	ポイント	%	%	%
流動比率 (流動資産/流動負債)	1,162.92	740.63	422.29	947.68	733.05	773.59
自己資本構成比率 (自己資本/総資本)	65.32	64.42	0.91	64.33	63.60	63.32

(注) 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益
総資本＝負債＋資本

流動比率は、未払金の増減等により大きく変動しているが、高い比率を維持している。

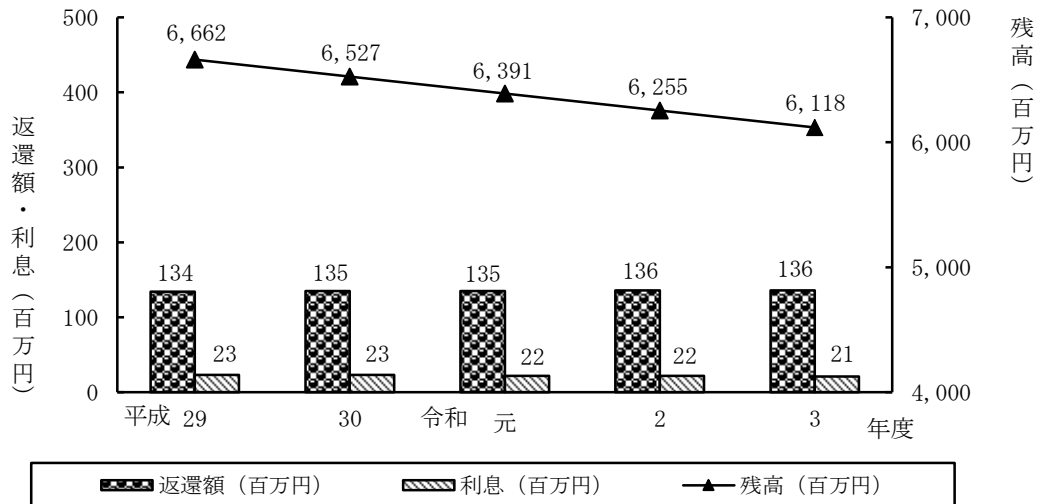
自己資本構成比率は、横ばいとなっている。

【工業用水道事業】

ウ 他会計借入金の推移

他会計借入金の推移は第 2 図のとおりである。

第 2 図 他会計借入金の推移



当年度の他会計借入金返還額は 1 億 3,675 万円となっている。この結果、他会計借入金残高は 61 億 1,847 万円となっている。

また、当年度の他会計借入金利息は 2,177 万円となっている。

(5) 資金状況

令和 3年度のキャッシュ・フロー計算書（要約）は第 8表のとおりである。

第8表 キャッシュ・フロー計算書（要約）

科 目	令和 3年度 千円
業務活動によるキャッシュ・フロー	551,578
当年度純利益	68,880
減価償却費等	584,925
長期前受金戻入	△ 123,567
その他	21,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 473,914
固定資産の取得による支出	△ 475,878
他会計貸付運用金の貸付による支出	△ 6,300,000
他会計貸付運用金の受入による収入	6,300,000
その他	1,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 135,418
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金返済による支出	△ 136,754
その他	1,336
資金増加額（又は減少額）	△ 57,754
資金期首残高	656,522
資金期末残高	598,768

（注）資金は貸借対照表における現金預金と同範囲である。

業務活動によるキャッシュ・フローでは、当年度純利益を計上しており、実際に現金の収入や支出を伴わない減価償却費等や長期前受金戻入等を加味すると 5億 5,157万円の資金が増加した。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、配水管布設工事等に起因する固定資産の取得による支出等により 4億 7,391万円の資金が減少した。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、他会計借入金の水道事業会計への返済による支出等により 1億 3,541万円の資金が減少した。

この結果、前年度末に比し、5,775万円の資金が減少し、期末残高は 5億 9,876万円となっている。

(6) 一般会計からの繰入金について

繰出基準による一般会計からの繰入金はなかった。

繰出基準以外で一般会計から繰り入れた金額は第 9表のとおりである。

第9表 繰出基準以外の一般会計からの繰入金

事 項	令和 3年度 千円	令和 2年度 千円	比較増△減 千円	備 考
一 般 会 計 出 資 金	1,336	1,318	18	* 導水路建設に係る 負担額の一部
資本的収入	1,336	1,318	18	
木曽川水系連絡導水路建設事業負担金 *	1,336	1,318	18	
合 計	1,336	1,318	18	